

(概要版)

互いに認め合い 自主的に活動する学級活動の工夫

—「絆シート」と「話し合いの手引き」を取り入れた話し合い活動を通して—

長期研修員 眞塩 康彦

現状と課題

児童の実態

国や群馬県の方針

個人では

- ・自分に自信がもてない
- ・人間関係に不安

学級活動では

- ・どう計画すればいいの？
- ・自分の意見を伝えられない

教師の願いでは

- ・互いに認め合える人間関係を作りたい
- ・自主的に活動するにはどうしたらよいか？

小学校学習指導要領解説 特別活動編

- ・「望ましい人間関係」の形成を各目標に明記
- ・自主的、自治的な活動を一層重視

平成22年度 群馬県 学校教育の指針

「よりよい生活づくりを形成する力」

- ・望ましい人間関係の形成
- ・話し合い活動をより一層重視

- ・自主的に話し合い活動を計画、運営する必要がある
- ・よさを生かして役割を果たし、互いに認め合う関係を築く必要がある
- ・よさに目を向ける活動を通して、自分を肯定的に認識する必要がある

研究の概要

互いに認め合い、自主的に活動する学級活動を!

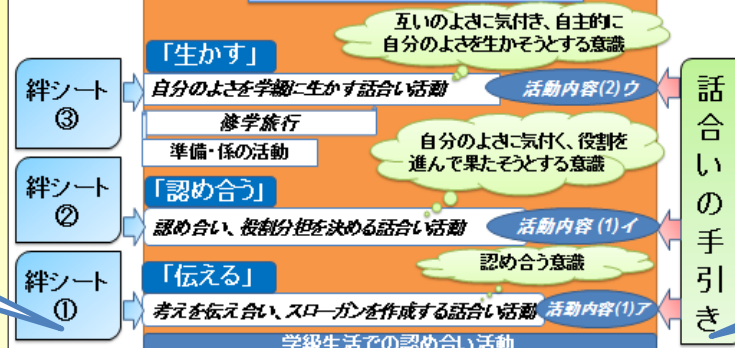
○互いに認め合う関係 ○自分のよさを生かして自主的に活動する意識

「伝える」「認め合う」「生かす」の過程

- ・話し合い活動を計画、運営する活動
- ・自分の考えを伝え合う活動
- ・協力し合って集団決定する活動
- ・役割や責任をもち進んで遂行する活動

互いに認め合い、自主的に活動できる児童

自主的に活動する学級活動



絆シート
を取り入れて

児童の多様な思いや
願いを伝える

話し合いの手引き
を取り入れて

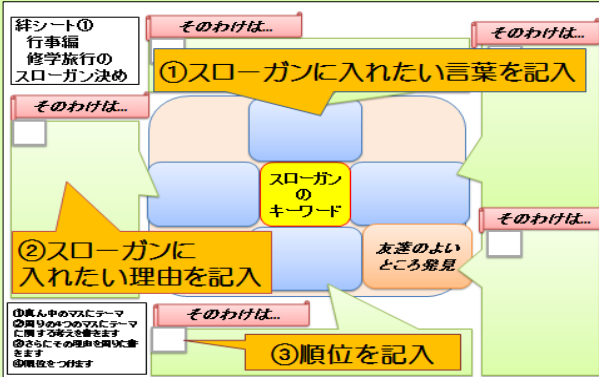
自主的に話し合い活動
を計画、運営し、協力
し合って話し合える

児童の実態 ○肯定的に認識できず、互いに認め合う関係に至っていない。
○自分の意見を伝え、協同的な話し合い活動にはほど遠い。
○話し合い活動をどう計画するか戸惑っている。

研究の内容

「絆シート」資料例

絆シート①



一人一人の思いや願いを引き出せるよう
「絆シート①」に記入しましょう。

①②③の手順で、修学旅行のスローガンに入りたい言葉とその理由を整理して書けます。思いや願いを生かしたスローガンを作成しましょう。



絆シート②

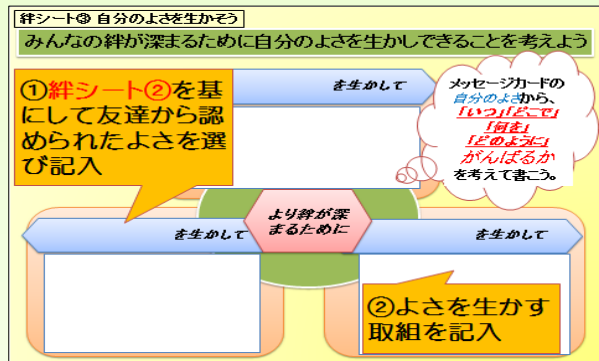


一人一人のよさを引き出せるよう
「絆シート②」に記入しましょう。

①②③の手順で、三種類のよさについてのよさとそれに合う係を整理して書けます。互いのよさを基に係分担を決定しましょう。



絆シート③



よさを生かした取組を自己決定できるよう
「絆シート③」に記入しましょう。

「絆シート②」のよさを生かした取組を書けます。新たな目標を設定し、自主的に活動できるようにしましょう。



「話し合いの手引き」

- 話し合いの意義
「なぜ話し合いをするの」
「どんなことを話し合うの」
- 意見の伝え方
「こんな意見が言えると素晴らしい」
- 意見の聞き方
「こんな姿勢で聞けると素晴らしい」

児童が協力し合って話し合うため

協同的な
話し合い活動

- 役割の説明
「計画委員会を作ろう」
「話し合いの役割」
- 話し合いの進め方
「活動計画を立てよう」
「司会の言葉」

計画委員が計画、運営ができるため

協同して話し合いができるよう
「話し合いの手引き」を取り入れましょう。

児童全員に配付

計画委員の活動

話し合いの手引き



自主的に話し合い活動を計画、運営ができます。協力し合って集団決定できるようにしましょう。



授業実践

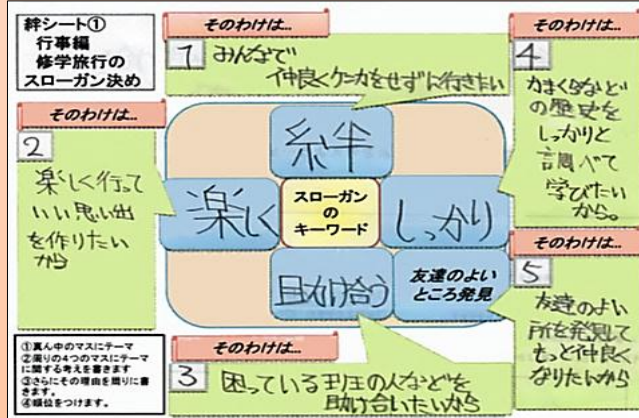
「伝える」過程

学級のアンケートから問題意識をもち、修学旅行のスローガンを作成する話し合いをした。



計画委員

○思いや願いを生かした活動計画を立て司会、記録などを担当し、中心となって活躍した



話し合い活動

○考えを明確にして、思いや願いを伝えられた
○認め合う言葉をスローガンに入れることができた

スローガン

最後の思い出 **絆を深め助け合おう**

結果

・話し合いの意義を理解し、話し合いを円滑に進められた。
・自分の思いや願いを伝えることができた児童が増加した。



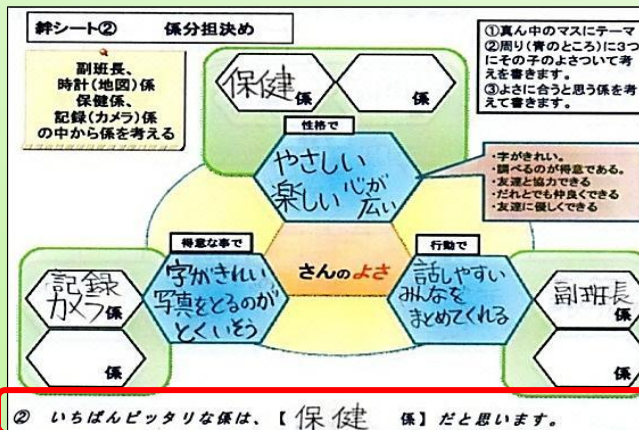
「認め合う」過程

班の児童について、三種類のよさから係分担を話し合い、決定した。



計画委員

○班で、一番適性に合う係を話し合い、本人が了解すれば決定することに決めた



話し合い活動

○自分の知らないよさを知り自信がもてた
○班やみんなのために頑張ろうと思った

結果

・「絆シート②」から、他の児童のよさを伝えられ、納得して係が決まった。
・自分を肯定的に認識でき、期待に応えようとする児童が増加した。



「生かす」過程

修学旅行から課題を設定し、自分のよさを学級のために生かすことを話し合い、自己決定した。

思いやりのある協力できる学級にしたい

仲間と思えば、思いやりのある学級になる



話し合い活動

○学級をよくしたい思いや願いを全体で共有できた
○学級のために自分の取組を設定できた

自己決定

積極的に行動するよさ
これから一生懸命に取り組む

メッセージカードに書かれた自分のよさから、「いつ」「どこで」「何を」「どのように」がんばるかを考えて書く。

責任感があるよさ
これから、いろいろなコトに一生懸命に挑戦したい。

より絆が深まるために

しっかりしているよさ
学級活動のときにたくさん意見を発表したい。

結果

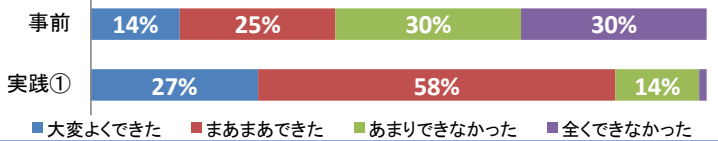
・素直な思いや願いを全体で共有でき、一人一人の考えが深まった。
・学級をよりよくしたい目標を設定でき、自己決定したことを進んで取り組める児童が増加した。



研究の結果

「伝える」過程

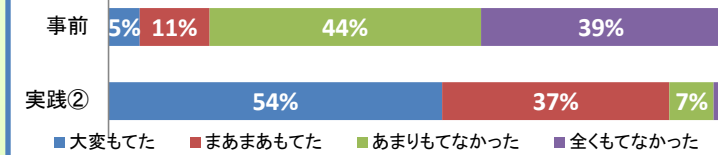
自分の意見を進んで発表することができた



友達との関係をよりよくしたい思いを共有し、互いに認め合う意識を高めることができた。

「認め合う」過程

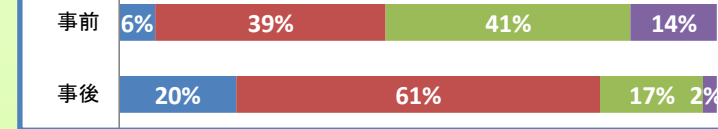
友達からよさを聞いて自分に自信をもてた



他の児童から見た自分のよさに気付くことができ、自己肯定感を高め、自分の役割を進んで果たそうとする意識を高めることができた。

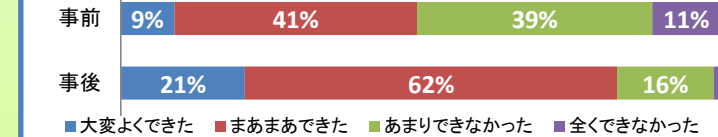
「生かす」過程

自分は、班や学級に役に立っている



新たな目標として自己決定することができ、自主的に自分のよさを学級生活に生かそうとする意識を高め、互いに認め合い、自主的に活動することができた。

自分の役割を果たし、自主的に活動できた



まとめ

成果

「絆シート」を取り入れたことで

- 考えを明確にし、多様な思いや願いを伝え合うことができた。
- 友達との関係をよりよくしたい思いを共有できた。
- 互いのよさの認め合いから、納得して係決定できた。
- 自分のよさを学級生活に生かし、自主的に活動する意識を高めることができた。

「話し合いの手引き」を取り入れたことで

- 計画委員が、自主的に話し合い活動を計画、運営でき、円滑に進行できた。
- 話し合いの仕組みや意義を理解でき、協力し合って集団決定できた。



課題

- より一層、児童が自信をもち、積極的に自分の考えを伝えられるよう「絆シート」の内容や様式を修正し、児童の実態に合うよう工夫していく必要がある。
- 意見を検討するときに、賛成や反対の意見を複数の観点から発言できるよう、「話し合いの手引き」を修正しよりよい集団決定の方向性を児童が見付けられるようにする必要がある。
- 他の学校行事や学校生活の様々な話し合いでも「絆シート」と「話し合いの手引き」を取り入れ、活動の継続をしたい。

問い合わせ先

群馬総合教育センター
担当係：義務教育研究係

027-26-9213(直通)